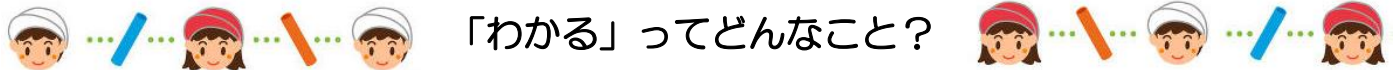


おひさまだよい

2023.9月号

コロナ、インフルエンザなどによる学級閉鎖、学年閉鎖が市内の小学校でもあります。ウイルスも命をさせようと必死なのでしょう。園では、一日に2~3回程度の次亜塩素酸水による空間除菌、階段の手すり等の消毒、また職員の手指消毒の徹底を図っています。いろいろとご心配おかけいたします。今しばらくの辛抱が必要なようです。



「わかる」ってどんなこと?

2歳児のお友だちが、ホールで年中さんのリレーを見ていました。2歳のお子様は、リレーを見たことがありません。スタートの笛が鳴りリレーが始まると、年中さんは自分のチームの応援を始めました。「がんばーれ!がんばーれ!」と声をそろえ応援を始めると、2歳児のお友だちが、控えめに小さな声で真似をしているように聞こえました。次第に声は大きくなり、最後には、リレーのルールがわかったかのように、大きな声で年中さんの応援?をしていました。とても興味深い光景でした。なぜ2歳児のお友だちは、声を上げて応援をしたのでしょうか?

年中児は、今までの経験から、リレーは「チームによる競争」なので、自分のチームを自然に「応援」します。一方、2歳児は、年中児のリズミカルな「声」に興味し、次第に大きな声で応援したのでしょうか。感情が言葉を押し出していたように感じました。



大人は、物事を「ことば」を通して「わかる」と思いがちですが、「乳幼児期の脳は、『行動』『視覚』『感覚』から分かることがたくさんある」と「脳研究者 育つ娘の脳に驚く」(扶桑社)に記してありました。言葉を獲得する途上にある乳幼児は、五感(視覚、聴覚、臭覚、味覚、触覚(皮膚感覚))から好奇心旺盛に情報を集め、言葉の獲得につなげます。0歳から4歳までのわが子の脳の成長を記した脳研究者 池谷裕二氏の本で、脳の発達について興味深く知ることができる本です。『しつけの分岐点「ほめる」と「しかる」』等のコラムも合点がいきました。



2歳児 お誕生会「ひとつ大きくなったの」



年中さん 「あ」に○をつけます



年少さん 「みて 先生より上手でしょ」

みんなの躍動感 スゴイ!



年長さん「発見・探検」